

武雄市議会だより

栄八通信

第 46 号

14710 月末発行



武雄市議会議員
宮本 栄八
TEL・FAX 23-0750
携帯 090-5083-0793

駅周辺整備清本跡地の活用

工事の進む、武雄駅周辺だが、いかに活用できるのかと期待もこめて知りたいと思う方も多いのでは。

そこで、現状と今後の予定を整理してみたい。

① 清本跡地

私が一番、驚いたのが、この活用案で、私は、駅北側が丸山の跡地で開発がしにくく南側の清本跡地が唯一まとまって開発できる所との認識で、その為に市が土地開発公社に所有させ、長年金利を払って保有して来たと思う。

しかし、今回、コンサルからは整備案4案出されているが、4案共に、「駐車場と移転代替地を含む住宅地」との提案。

その理由は、新幹線が開通して、駅利用者、現在の1日3、

000人が、3、300人の、1割程度しか増えないとの見込みからとの理由。

「チャンス活かせ新幹線」とPRしているには、開業に近づくにつれ現実的になって来たのかと思う。

一方、駅前と言うのは、乗降客の為に同時に街の顔でもある。

そこで、「駅ビルを建てろ」とまでは、言わないが、駐車場と宅地に分散して良いのかコンサルに少し違った案の提出を求めているの質問に、コンサルに別案は求めないが「課で4案に限定せずに柔軟に考える」との返答で、まずはホッとするが、やはり、一方で民有地を一体利用する「開発エリア」を設定し、一方、市の保有する土地はバラ売りではつじつまが合わないと思うが、市民の皆さんは、どう思われますか？



認定こども園と 安心こども基金

県の残金13億円

保育園改築と安心こども基金

今6月補正予算で一番金額が多かったのが、約2億6千万円の安心こども基金の補助での保育所等の改築であった。私は、これまで

この基金を活用した事業として、マツダ自動車販売店や本山建設さんが、社内トイレに設置されたベビーベッドの補助は知っていたが少額の補助金と思い込んでいた。しかし、今回、北方町の志久保

育園の全面、移転改築や、武内保育園の給食室、事務室の改築、また、山内保育園の改築と認定こども園として、新たに幼稚園も併設するなど計画してある。

私は、特に、志久保育園については、合併以前から、国道34号線の横断歩道を、車を気にしながら親子で渡っておられるのを目にし、何とかできないのかと思ってた。

たぶん、ニコイ付近を通られる方はそう心配されていたと思う。

今回、新たに、四季の丘公園入り口の、紀水苑の横に新築を計画されているので良かったと思う。

安心こども基金とは

一方、今どこ何億円も補助金が出る、この基金のシステムを改めて調べてみると、何と国がH20年度から県に対し、総額43億円を子育て関係の補助基金として出し、それをH21・22・23年度の3ヶ年に活用するものだった。(本年度終了)

補助メニューは多岐に渡るが、保育所改築等については、補助対象額の1/2をこの基金、1/4を市、あとの残1/4を事業主体が出す有利な制度。

ある意味、市内保育園さんがチャンスを活かしていただいた。

そこで、県に、基金43億円の残額をたずねてみると、なんと最終年度のH23年度計画分を除いても、まだ約13億円があるとのこと、その残額は国への返納になることも考えられると言う。

一方、私は、H22年度のひまわり

り保育園の改築は、以前から続く国の交付金等で、補助されていると思ってたが、これも、約8千万円は、この安心こども基金が利用されていた。そこで、以前の国の補助や交付金はどうなっているのか尋ねると、それは、すでに無くなっていると言う。だから、唯一補助があるのは、この子ども安心基金と分っておどろいた。

そうなら、民主党政権がこの様な制度を再度しなければ、まったくの補助金なしで大変になる。

武雄保育所の改築を

H15年よりの市の計画の2本柱、**1、老朽化の為、近隣に建て替え、公立として特別保育等の拠点**

この計画は新市にも引き継がれている。その為、私も市立で建て替えるを早急にすべきと言ってきた。ただ、今回、担当課と詰めて話す中で、特別保育については、民間保育所で、延長保育・障害児保育については実施されていて、休日保育についても、1日9名程度を一時の預り保育的に行うとの目標で、病後保育についても、嬉野市の樋口医院に当面御願いとすること。私は、公立として、もっと高い目標があると勝手に思い込んでいた。そうならば、私から言え、超過負担が、年間約5千万円も高いと言われる公立での運営でなくて良いと思う。また、元々、旧武雄市が公立保育所を1ヶ所残すとしたモデルは、鹿島市のみどり園がH15年頃、市内保育所の拠点として公立で残すと言うのを参考にした。

ただ、今回、鹿島市のみどり園が、拠点保育所となっているかをたずねると、そうなのではないとの答で、それなら、武雄保育所も、民間での建て替えで良いのではな

いかと考えた。そうならば、福祉法人や学校教育法人の運営となると、先の安心

子ども基金が利用できる。また、H23年度中に県の認定を受けると

残業禁止令で節電

私は、新たな事にチャレンジすることや、実験的に取り組むことには大いに賛成である。

ただ、目立てば良いの意味のな

いパフォーマンスに税金を使う事には、反対とのスタンス。

今回の、残業禁止令については賛成である。今回、実施の理由は、

①節電、②だから残業の見直しとの事である。

市職員がテレビへのインタビューに答えて、「これを機会に、業務のあり方を見直したい。」と言っ

修学旅行の行先東北被災地へ？

今議会、市長は、修学旅行の行先について、京都などの寺社よりも、東北の震災地や復興の進む松島などにする主旨の発言があった。その時、教育長の方を見ると、あえて賛否を顔に出さない様になっている様に見えた。

私も、今秋、修学旅行(遠方)に行く中3の子供をもつが、この行先選定のあたっても、時期も含

ていて、大いに期待できる。

私も、合併前の行革が活発にやられていた頃に、残業の縮減の提案を何度もしたが、その時は残業時間数が特に多い職員中心だった。

今回は、全職員だが、私が特に

気づく所は、残業が当り前の様だった教育委員会の急変である。

市長は、議会で7・8・9月の3ヶ月と言われていたが、何故か7・8月に縮小は残念だが、7・8月中に残業にならない様な業務の見直しをして、特別に緊急性のない時は年間を通して残業禁止を。(残業代は約1千万円と言う)

め学校から、何回も保護者にアンケートがあり、沖縄から京都に変わった。もう費用も約1年前から、分割で払い込んでいる。(約5万円)そこで、どうなるのか、後日教育部長に聞くと、今年の修学旅行の行先は、すでに決定して変更は出来ないとの話で、もし、東北に変更するならば、来年の中3となるが、保護者の費用負担も大きいので、市長の意向で変更する時は、保護者の納得と費用補助も必要と思う。

庁舎を検討するとの話。

まずは、耐震調査をすると言った。

各地に行くと、現武雄市の庁舎よりはるかに古い所もある。建替えに頭から反対ではないが、要は、他の公民館や市営住宅建替え等との優先順位を示して市民の理解が必要と考える。

市役所庁舎の建て替へ

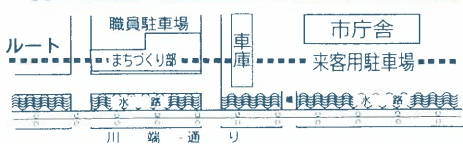
急浮上

新幹線ルートが市役所を通る。ただ、本庁舎には当らず、車庫と別建てのまちづくり部(建設・下水道等)のプレハブにかかる。

以前、市長は、まちづくり部を北方支所に移すとのことで、新幹線での影響はないと思っていた。

今回、市長は、新幹線ルートで駐車場も使いにくくなるとし、機構に全部買い上げてもらい、それを元手に、合併特例債を利用して新

新幹線事業庁舎周辺予定計画



西部ごみ処理センター その3

3方式の入札参加を望む！

私が、伊万里市、松浦町に建設予定のごみ処理場に関心をもつのは、約200億円もの税金を使うのは勿論、耐用年数15年余った後は、武雄市が、次の有力な建設予定地になる可能性が高く、まず、伊万里市の施設が最良の施設になることが、第1歩と考える。

本題に入るが、組合は当所処理方式を、灰をセメント工場に金を出して引き取ってもらうセメント原料化システムを選択。しかし、

長期引取りの契約が出来ないことから、灰をさらに溶かして石状に無害化するスラグ化システムへと再検証がされていた。

私は、次は、スラグ化の3方式が、オープンに検討されると思っていた。

しかし、事務局の作成した再検証の結果には、いきなり、私の45号の通信で絶対選択しないでといった、シャフト炉方式がよりによって選択されていた。

ただ、選定の評価には、おかしな所、疑問点が多い。

3方式を説明します

市民の方と、この新ゴミ処理場の件について話すと、一般の人は殆ど情報がなく、シャフト炉というカラフト（ロシア）で、なんと聞かれる始末。

本来ならば、組合や市が住民に十分な説明をすべきだが、結論が8月に出るとの事で、時間もなく私が代わって少し説明します。

スラグ化方式を分類すれば、
①ストーカ+灰溶解式

ストーカ+灰溶解式というのは、空気が入りやすく鉄の格子網の上でゴミを焼き、その後別施設で灰を電気又は重油で溶かす方式で佐賀市が

採用。シンプルで管理が簡単。ただ、発電した電気を溶解にとられる所もある。

②シャフト炉

石炭コークスやLPガス等を燃やし、そこにゴミを投入し、直接スラグ化する。ゴミに加え、コークス等からのCO₂が発生する事や、化石燃料等が高騰すれば費用が増加する。また製鉄所の技術に基づいて管理は難しい。

③流動ガス化

これは、ゴミを砕き、焼いた砂の中に入れ一気に燃焼し、その火力を使用して、直接スラグ化。流動式は、現クリーンセンターで採用、ただしスラグ化は無し。ゴミ投入前に破壊機でゴミを砕く工程が一つ増加する。

再検証に疑問

前回のスラグ化3方式の評点は
①ストーカ+溶解式83点（電気）
②シャフト炉 86点
③流動床ガス化 90点

で、③が1位になっていた。

しかし、今回の再検証の評価は

①ストーカ+溶解式83点
②シャフト炉 93点
③流動床ガス化 90点

で、いきなりシャフト炉だけが7点も増え、1位になっていてびっくり。

私は、シャフト炉だけは、いけな

いと思っていたし、インターネットで

ちょっとシャフト炉の問題点を検索すれば、CO₂増大、燃料費の増大、1、800度と高温なので、金属類が銅を含む混合物になり利用価値がおもぐらいしかない。また、杵簾クリーンセンター漏水対策で指導いただいた、福岡大学花島正孝教授は、リサイクルでプラ類が減少

するとシャフト炉は運転しずらくなるなどリサイクルとの逆行も指摘。そんな中、絶対シャフト炉の1位は有り得ないと思い、評価の理由を調べてみた。

2項目で増点があった。1つ目

は、地球温暖化の項目で、前回は、CO₂排除や溶解エネルギーの関係で、△の3が、今回は、これまでの3施設の統合で国の温暖化目標を超えないとし、○の6.7になっていた。私から言えば、3施設統合は当り前で、また、CO₂や燃料増大へのハードルを上げるならともかく、下げて○にするのは、おかしく意図的かと思えない評価。2つ目は、スラグの活用で、○の6.7から、◎の10.0

になっている。その理由を見ると、県内にあるみやき鳥栖のゴミ処理センターがシャフト炉（LPG）方式で、スラグが3年間100%利用されているので◎となったとある。

しかし、調べるとシャフト炉のスラグが良いから100%利用されているのではなく、ただ、入札の時に、プラントメーカーと、全量買取契約をして、その為に100%がはけているだけで、シャフト炉の処理方式とまったく関係ない。恥かしくなる位の筋違いの理論で加算してある。

この、2つのシャフト炉の点数アップは、誰が見ても変だと思っ

た。私は、シャフト炉だけを選定するのは嫌だが、ただ、シャフト炉を入札から排除したいとも思っていない。私は以前から言っている様に、現在久留米市が行っている、3方式参加の提案型入札が良いと思う。

3方式入札で60億円減も

最近、焼却炉選定の過程を、広くインターネットで公表し、公明盛大との全国的評価されている青森市の新ゴミ処理施設も3方式入札であり、その入札結果も、驚くこ

とに、何と100億円の差が出ている。（1t6、600万円）

やはり、機種限定せず、広く門戸を開いた結果が、住民の税負担の軽減につながったと思う。

私たち西部環境組合も、広く入札し、負担を減らし、その分、今

回施設引受の松浦地区に還元を。

スラグ引取条件DBO入札を

また、入札に当たっては、セメント会社や、灰の引受約束ができなかった。しかし、スラグについては、全量引受契約も可能なので、是非とも処理施設の入札に際しては、スラグの全量買取条件を付して入札を願いたい。

また、最近DBOと言って、運転期間20年の運営費も同時に提案する方法が多用されて来た。

先のみやき鳥栖のシャフト炉では、燃料費高で、5年後から運営費の年間約5億円を、大幅アップや運転撤退話もあり、結局1億円アップの6億円になるなど、運転の長期安定の為に、DBO入札で、将来の心配を先に、クリアした方が

良い。最終的には、見方によっては、迷惑施設であるので、地元松浦町の

方の十分な理解と納得が必要！

青森市（新ごみ処理施設）建設及び運営

事業方式：DBO（20年） 日量：280 t（汚泥を含む）

入札結果：185億円 三菱重工環境化学エンジニアリング

提案機種	会社名	建設費	運営費	合計	機能点	評価
流動ガス化	三菱重工環境化学エンジ	112億円	72億円	185億円	255点	1位
	荏原環境プラント	171億円	116億円	287億円	313点	3位
ストーカ+灰溶解	川崎重工	148億円	98億円	247億円	255点	4位
	タクマ	125億円	100億円	225億円	271点	2位
シャフト炉	新日鐵エンジ	120億円	143億円	264億円	259点	5位
	JFEエンジ	108億円	122億円	230億円	239点	6位

※ 機械の価格は、6位のJFEエンジが安い。 ※ 運営費2倍の差がある。（三菱と新日鐵）
※ 提案機能点は、荏原が良い。西部は200tだから60億円減も期待する。

休日急患センターにCT配置を

私は、市民病院の問題で、池友会に対して、救急再開応援時の蒲池氏の朝礼での法律すれすれでやって行くとの発言に反発はあったが、基本的には民間企業が利益を求めて活動する事に文句はない。問題としていたのは、行政の説明責任、南部医療圏の1次2次の医療連携と高齢者の入院先、そして公平な政治だけです。

だから、東部地区の新武雄病院が法律内で、どう経営されようが良いと思う。

一方、新武雄病院のかかげる365日24時間、重症から軽症まで

の対象者に子供は入っていないとの最近の説明なので、医師会館で、小児の休日、時間外の診療が続けられている。

以前は、市民病院で子供が頭を打った時などは、CTなどで撮ってもらっていた。

そこで、旧市民病院の医療機器のMRIやCTは、新病院が必要なものに移転時に売却し、不用な物は、インターネット等で出来るだけ高く販売し、市民負担を押さえ

るとの市長の説明だったと思う。

そこで、私はまず市民に必要なものは安く売らずCT等を医師会

館に寄贈か、市の備品として設置し、子供のCT撮影が可能になれば、新病院移転後の問題点の解決になると提案した。

市長は、「市民病院では、小児に

対しCTは撮っていないかった。」と言

い、私の提案は門前払いされた。

しかし、後日、旧市民病院の関係者から、時間外もオンコール（呼出）で撮影していたとの電話があった。

もししないとしたら、池友会の

応援後の話ではないか？との話。

一方、旧市民病院の機器等は帳簿上、約6千万円分あり、新病院

の必要な分は売却するとの話だったが、新病院移転後1ヶ月以上もなるのに、何ら在庫確認や代金も請求していないのは何故か？